



多摩ニュータウン環境組合 地元説明会

■ 平成27年2月11日（水） 多摩ニュータウン環境組合



次第

- 開会
- 事務局長あいさつ
- 職員紹介
- ごみ処理区域再編検討状況について
（中間報告）
- 不燃残渣の資源化について
（検討報告）
- 質疑・応答
- 閉会

ごみ処理区域 再編検討状況について

- 1 構成3市及び環境組合について
 - (1) 構成3市の連携強化
 - (2) 相互協力
- 2 町田市ごみ処理区域について
- 3 八王子市ごみ処理区域について
- 4 多摩清掃工場への搬入実績

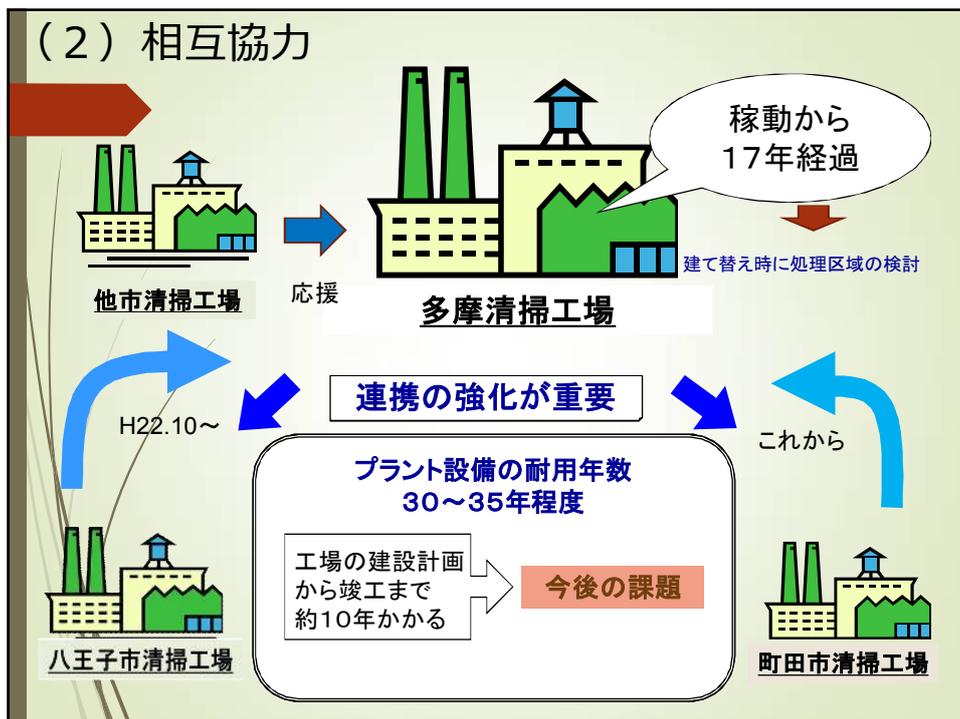
1 構成3市及び環境組合について

(1) 構成3市の連携強化



- ⇒ 建替え時の相互支援
建替え計画のスムーズな進捗
- ⇒ 既存施設、計画される施設の
広域的な相互有効利用の促進





2 町田市ごみ処理区域について

搬入量等については検討中

実施時期は新清掃工場稼働時
(平成32年度予定)

具体化した段階で説明会を開催します。

3 八王子市ごみ処理区域について

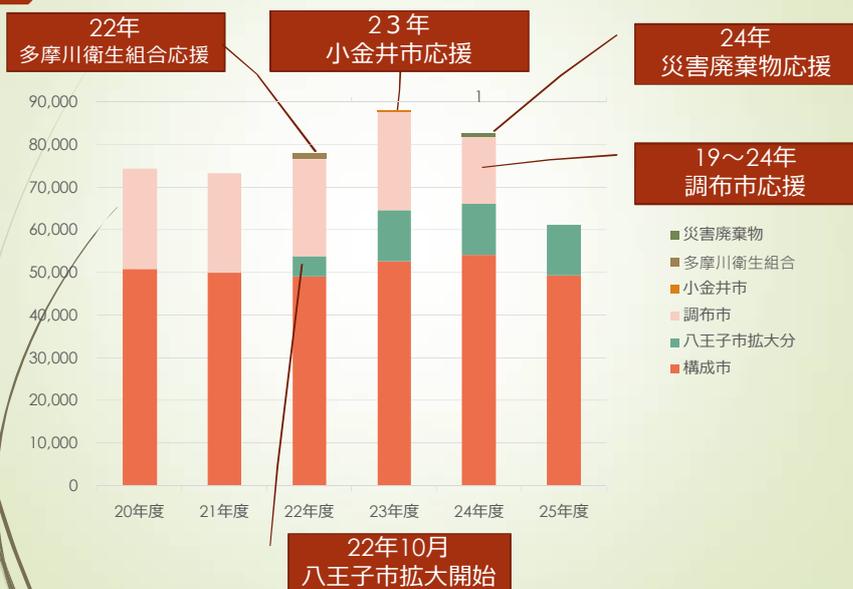
現在の拡大区域については縮小する

変更時期は館清掃工場稼働時
(平成34年度予定)

搬入量等については検討中

具体化した段階で説明会を開催します。

4 多摩清掃工場への搬入実績





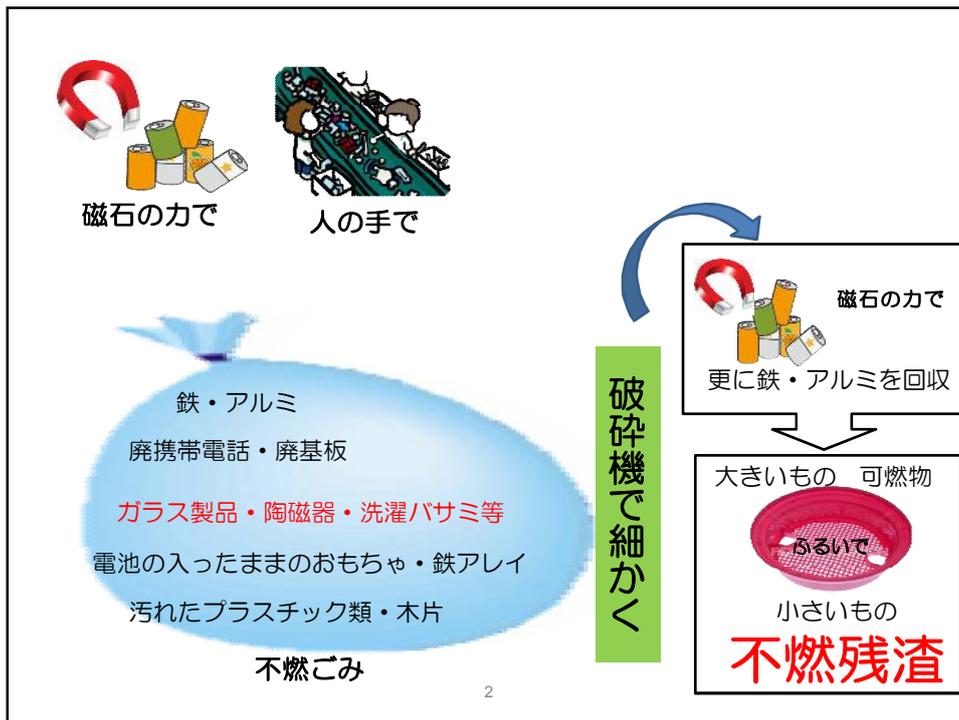
不燃残渣ができるまで

《不燃・粗大ごみ処理施設に搬入される不燃ごみ》

ガラス製品・陶磁器・おもちゃ・洗濯バサミ…等

誤って混入している物

電池の入ったままのおもちゃ・鉄アレイ
汚れたプラスチック類・木片・鉄・アルミ
廃携帯電話・廃基板



不燃残渣はどうしてるの？

二ツ塚処分場 埋立のようす



埋立処理

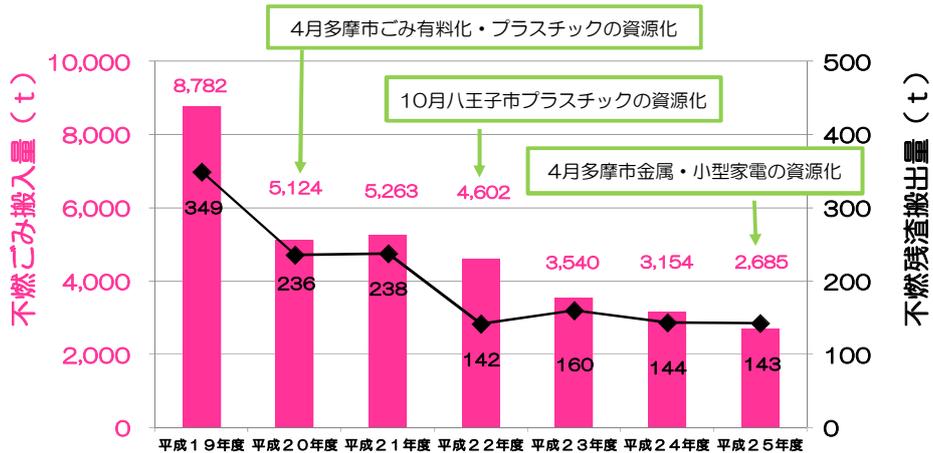
※ 東京たま広域資源循環組合HPより

課題

- ★ 埋立処理 ⇒ 利用できない
- ★ 半永久的な処分場の維持管理費の負担

4

不燃ごみ搬入量と不燃残渣搬出量の推移



平成25年度（平成19年度比）

不燃ごみ搬入量：70%減量 不燃残渣搬出量：60%減量

5

ごみの資源化への動向

- ★ 家庭ごみの有料化
- ★ 分別収集によるプラスチックの資源化
- ★ 分別収集による金属・小型家電の資源化（多摩市）



不燃・粗大ごみ処理施設での丁寧できめ細かな分別が可能に

多摩ニュータウン環境組合の資源化

- 携帯電話の資源化（平成19年度）
- 再使用できる廃自転車を海外へ売却（平成22年度）
- 廃基板の資源化（平成23年度）
- 多摩市の金属・小型家電の資源化（平成25年度）

6

可燃ごみ処理施設



可燃ごみは、焼却により
100%資源化

燃やした熱の利用
総合福祉センターの給湯・空調
アクアブルー多摩の温水のプール熱源

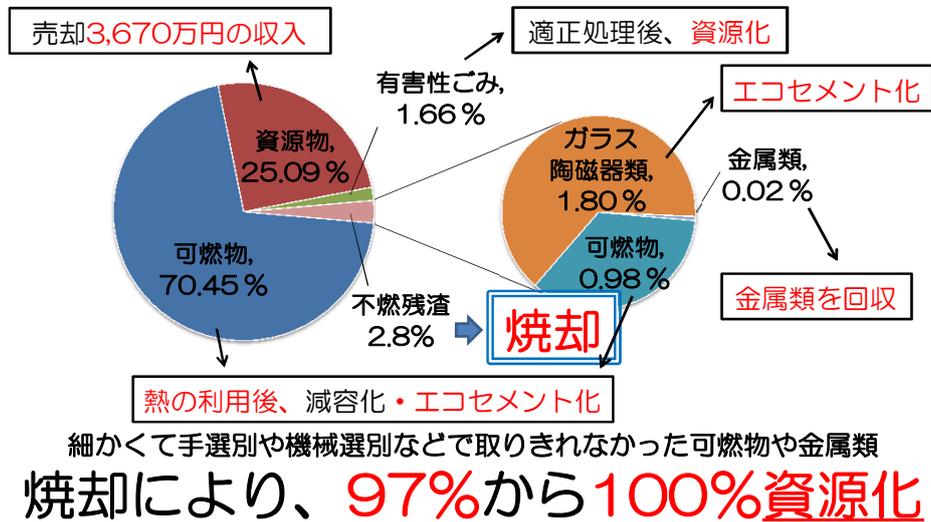
燃やした熱の利用
多摩清掃工場の使用電力
余剰電力の売電
2億1,500万円の収入

燃やしてできた灰
減容化・エコセメント化

燃やしてできた灰の
中から金属類を回収
資源化
920万円の収入

7

不燃・粗大ごみ処理施設



8

不燃残渣を焼却する資源化は安全なの？【ダイオキシン類対策】

【発生抑制】

ダイオキシン類が分解される**850度以上**で焼却しています。

【再合成防止】

公害防止設備の最適な温度域（200度）まで、減温塔で急速な冷却をすることで、ダイオキシン類の**再合成を防止**します。

【除去・分解】

多摩清掃工場の公害防止設備は、ダイオキシン類を**ろ過式集じん機**で除去、**触媒**で分解することができます。

9

国等で定めている法令基準よりも厳しい自主規制運用値を設けて、工場を運転しています。

《例：ダイオキシン類は、国の基準の100分の1》

ダイオキシン類については、排ガス処理設備の処理前と処理後で測定する等、きめ細やかな測定を行っています。

工場で測定した環境に係る情報は、測定結果が分かり次第ホームページ等で迅速に公表しています。

排出ガス中のダイオキシン類濃度

単位：ng-TEQ/m³_N

法令基準値	自主規制運用値	H19.10.25	直近値 H26.10.29
1	0.01	0.0014	0.000056

10

不燃残渣を埋立処理から 資源化するメリット

- ★ 埋立てをしない
- ★ 維持管理費がいらぬ
- ★ 熱や発電に利用し、減容化
- ★ 金属類をさらに回収
- ★ エコセメントとして利用※
※ 東京たま広域資源循環組合のエコセメント化施設
- ★ 搬入されたごみを100%資源化

埋立て「ゼロ」へ

11



質疑・応答



閉会

ご清聴ありがとうございました。